

8-1-5 植物

(1) 重要な種及び重要な群落

1) 調査結果の概要

① 植物相の状況

(a) 文献その他資料調査

対象事業実施区域及びその周辺における植物の生育状況を把握するため、文献その他の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

b) 現地調査

表 8-1-5-1 に示す文献その他資料から、対象事業実施区域及びその周辺において生育記録のある種を調査地域の生育種として抽出した。

表 8-1-5-1 植物に係る文献その他の資料

No.	文献及び資料名
1	「1998 年版 埼玉県植物誌」(埼玉県教育委員会, 1998 年)
2	「小川町の歴史 別編 小川町の自然 植物編」(平成 12 年 3 月、小川町)のうち、「第 2 部 小川町の植物相」における記載種

c) 調査結果

文献その他資料調査により生育の情報が得られた植物は、表 8-1-5-2 に示すとおり 158 科 1490 種であった。

なお、文献その他資料調査結果の詳細は、「3-1 自然的状況 3-1-5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2)植物の生育状況 1) 植物相」に示したとおりである。

表 8-1-5-2 文献その他の資料による植物の調査結果

分類群		科数	種数
シダ植物門		23	162
種子植物門		135	1328
	裸子植物亜門	6	12
	被子植物亜門	129	1316
	双子葉植物綱	109	962
	離弁花亜綱	77	605
	合弁花亜綱	32	357
	単子葉植物綱	20	354
計		158 科	1490 種

注：分類、配列等は、原則として「植物目録 1987」（昭和 63 年、環境庁）に準拠した。

(b) 現地調査

対象事業実施区域及びその周辺における植物の生育状況を把握するため、現地調査を実施し、情報の収集並びに当該情報の整理・解析を行った。

a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺における植物の生育状況を把握するため、調査地域は対象事業実施区域及びその周辺約 200m の範囲とした（図 8-1-5-2）。

b) 調査地点

植物の調査は特定の調査地点を設定せず、調査地域全域を対象とした。

c) 調査期間

調査期間は、表 8-1-5-3 に示すとおりである。

表 8-1-5-3 植物の調査期間

季節区分	調査期間
秋季	令和元年 10 月 15 日～令和元年 10 月 18 日
早春季	令和 2 年 3 月 26 日～令和 2 年 3 月 27 日 令和 2 年 3 月 30 日～令和 2 年 3 月 31 日
春季	令和 2 年 5 月 25 日～令和 2 年 5 月 28 日
夏季	令和 2 年 8 月 3 日～令和 2 年 8 月 6 日

d) 調査方法

調査方法は、表 8-1-5-4 に示すとおりである。

表 8-1-5-4 植物の調査方法

調査項目	調査方法
植物相調査 (目視観察)	・調査地域全域を踏査し、目視により確認された植物種（シダ植物以上の高等植物）の種名と生育状況を調査票に記録した。

e) 調査結果

調査地域における植物の調査結果は、表 8-1-5-5 に示すとおり 124 科 657 種であった。

調査地域は、起伏に富んだ低山地とその周囲の平地で構成されている。

低山地は、スギ・ヒノキ植林の他、コナラ群落の樹林が広範を占めており、その他イヌシデやヤマザクラ、リョウブ、クヌギ等の樹木が生育する。また、樹林の周辺に広がる草本群落には、ススキ、セイタカアワダチソウ、カナムグラ、ヨモギ、ヒメジョオン等、樹林伐採後に生育したと考えられる植物が確認された。また、各々の谷地形に沿って小規模な河川が流れており、その周囲の平地にはミゾソバ、ボントクタデ、クサヨシ等の湿性環境を好む植物が確認された。植物相の主な確認種は、表 8-1-5-6 に示すとおりである。

なお、植物確認種の詳細は「巻末資料」に示す。

表 8-1-5-5 植物相調査結果の概要

分類群	調査時期								合計	
	秋季		早春季		春季		夏季			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
シダ植物門	12	34	8	23	12	37	13	33	15	50
種子植物門	94	348	63	211	93	402	103	417	109	607
裸子植物亜門	4	4	4	5	5	5	6	7	6	8
被子植物亜門	90	344	59	206	88	397	97	410	103	599
双子葉植物綱	78	271	50	171	76	303	81	318	86	449
離弁花亜綱	54	172	35	110	52	197	55	207	60	291
合弁花亜綱	24	99	15	61	24	106	26	111	26	158
単子葉植物綱	12	73	9	35	12	94	16	92	17	150
合計	106 科	382 種	71 科	234 種	105 科	439 種	116 科	450 種	124 科	657 種

注：分類、配列等は、原則として「植物目録 1987」（昭和 63 年、環境庁）に準拠した。

表 8-1-5-6 植物相の主な確認種一覧

分類群	主な確認種
シダ植物門	フモトシダ、イワガネゼンマイ、オオバノイノモトソウ、ホソバナライシダ、リョウメンシダ、オクマワラビ、ミゾシダ、ハリガネワラビ、イヌワラビ、コウヤワラビ等
種子植物門	—
裸子植物亜門	【木本植物】イチョウ、モミ、アカマツ、スギ、ヒノキ、サワラ、イヌガヤ、カヤ
被子植物亜門	—
双子葉植物綱	—
離弁花亜綱	【木本植物】フジ、シラカシ、ヒサカキ、クズ、コナラ、アオキ、マルバウツギ、アラカシ、ミツバアケビ、イヌシデ、キツタ、ヤマザクラ、ツルグミ、ムクノキ、アカメガシワ、イヌツゲ、クヌギ等 【草本植物】カナムグラ、ヒカゲノイノコズチ、ミズヒキ、ミゾソバ、カタバミ、ケキツネノボタン、セリ、タチツボスミレ、エゾノギシギシ、キンミズヒキ、ボントクタデ、メドハギ、ヤブジラミ等
合弁花亜綱	【木本植物】テイカカズラ、ヤブムラサキ、エゴノキ、ヤマツツジ、リョウブ、アセビ、マルバアオダモ、コウヤボウキ、コバノガマズミ等 【草本植物】セイタカアワダチソウ、ヤブコウジ、ヨモギ、ヘクソカズラ、ヒメジョオン、カキオドシ、コセンダングサ、ノコンギク等
単子葉植物綱	【草本植物】アズマネザサ、ナガバジャノヒゲ、オニドコロ、ススキ、マダケ、シオデ、ケチヂミザサ、コチヂミザサ、ヤブラン、ジャノヒゲ、シュロ、チゴユリ、ツユクサ、メヒシバ、モウソウチク、クサヨシ、コゴメガヤツリ、マムシグサ、アキノエノコログサ、アズマザサ、イヌビエ、エノコログサ、オオバジャノヒゲ等

注：分類、配列等は、原則として「植物目録 1987」（昭和 63 年、環境庁）に準拠した。

② 植生の状況

(a) 文献その他の資料調査

対象事業実施区域及びその周辺における植生の分布状況を把握するため、文献その他の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺とした。

b) 調査方法

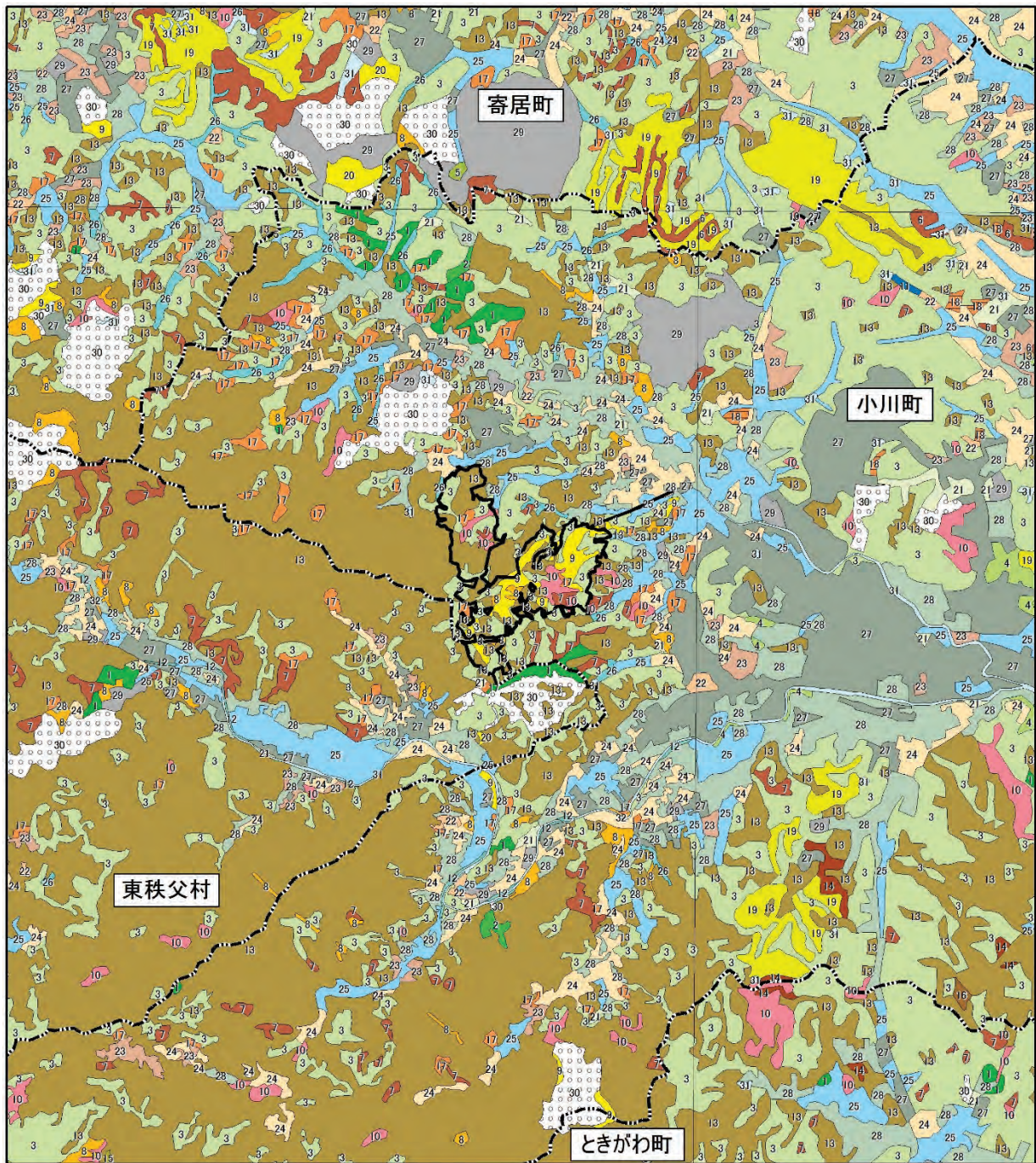
表 8-1-5-7 に示す文献その他資料から、対象事業実施区域及びその周辺において記録のある植生を調査地域の植生として抽出した。

表 8-1-5-7 植生に係る文献その他の資料

No.	文献及び資料名
1	「自然環境保全基礎調査」(第6回～第7回) (環境省自然環境局生物多様性センターHP)

c) 調査結果

文献その他の資料調査により、調査地域において確認された植生は、図 8-1-5-1 に示すとおりである。



凡 例

対象事業実施区域及び関連施設
 町村界

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 アラカシ群落 2 イロハモジークヤキ群落 3 クリーコナラ群落 4 クスギコナラ群落 5 アカガシワカラスザンショウ群落 6 アカマツ群落(VII) 7 ヤマツツジーアカマツ群落 8 低木群落 9 ススキ群団(VII) 10 伐採跡地群落(VII) | <ul style="list-style-type: none"> 11 ヨシクラス 12 ツルヨシ群落 13 スギ・ヒノキ・サワラ植林 14 アカマツ植林 15 カラマツ植林 16 その他植林 17 竹林 18 モウソウチク林 19 ゴルフ場・芝地 20 牧草地 | <ul style="list-style-type: none"> 21 路傍・空地雑草群落 22 放棄畑雑草群落 23 果樹園 24 畑雑草群落 25 水田雑草群落 26 放棄水田雑草群落 27 市街地 28 緑の多い住宅地 29 工場地帯 30 造成地 | <ul style="list-style-type: none"> 31 開放水域 32 自然裸地 |
|---|---|---|--|

出典：「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」（2008年度・2012年度データ）（環境省自然環境局生物多様性センターHP）



1:50,000



図 8-1-5-1

現存植生
(文献その他の資料調査)

(b) 現地調査

対象事業実施区域及びその周辺における植生の分布状況を把握するため、現地調査を実施し、情報の収集並びに当該情報の整理・解析を行った。

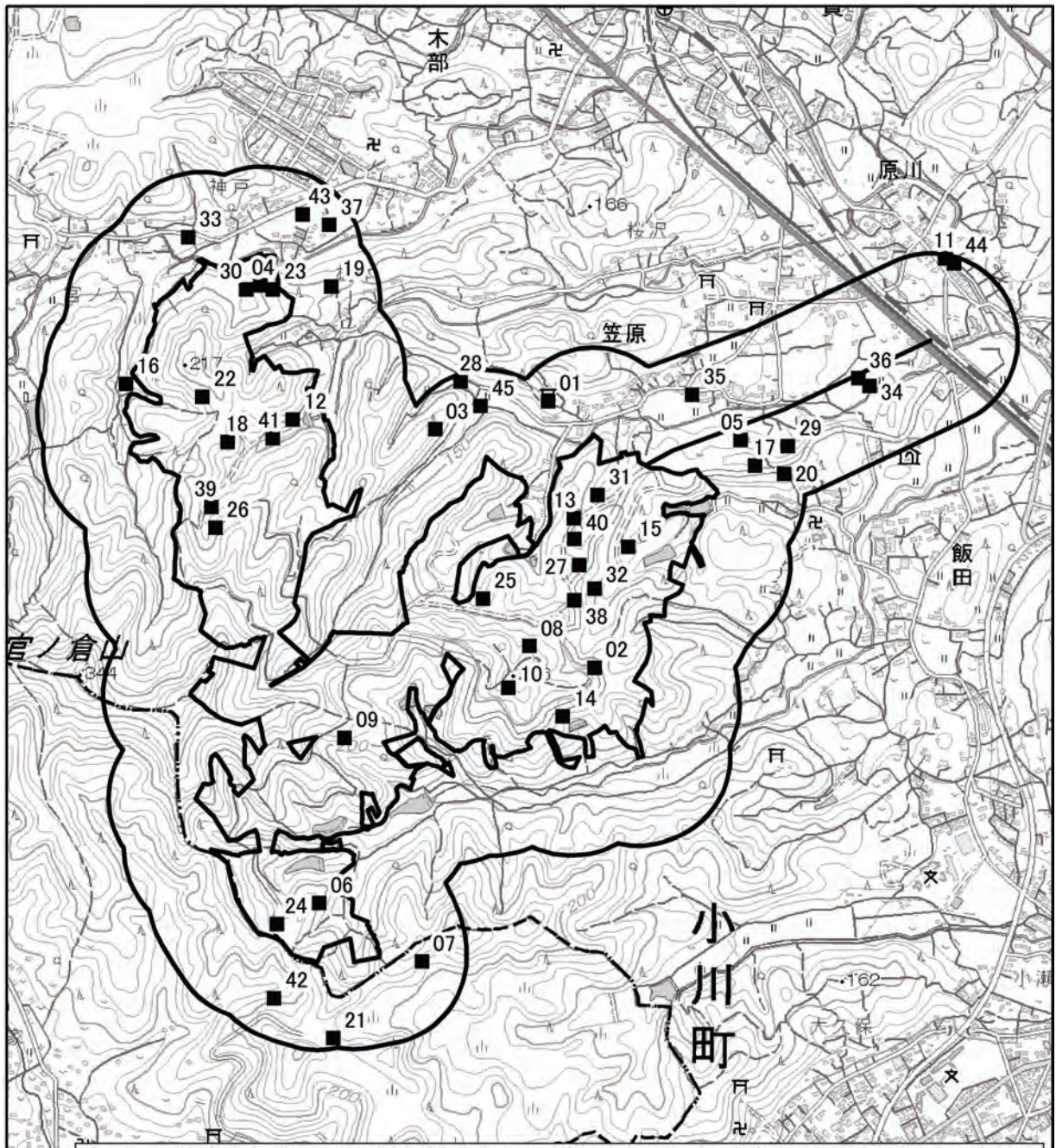
a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺における植生の分布状況を把握するため、調査地域は対象事業実施区域及びその周辺約 200m の範囲とした。

b) 調査地点

植生の調査地点は、図 8-1-5-2 に示すとおりである。

また、植生調査地点（計 46 地点）の環境及び設定根拠は、表 8-1-5-8 に示すとおりである。



注：ヒシが植物における重要な種に該当するため、本図においてヒシ群落の調査地点は示していない。

- 凡 例
- 対象事業実施区域及び関連施設
 - 町村界
 - 調査地域
 - 植生 調査地点



1:15,000

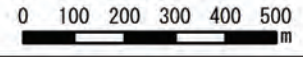


図 8-1-5-2 植生調査地点

表 8-1-5-8 植生の調査地点の環境及び設定根拠

調査区分	No.	群落名	設定根拠
植生調査	1	スダジイ群落	スダジイ群落における植生状況を確認するため。
	2	アカマツ亜高木林	アカマツ亜高木林における植生状況を確認するため。
	3	コナラ群落	コナラ群落における植生状況を確認するため。
	4	コナラ群落	
	5	コナラ群落	
	6	コナラ群落	
	7	コナラ群落	
	8	コナラ群落	
	9	コナラ群落	
	10	コナラ群落	
	11	ケヤキ群落	ケヤキ群落における植生状況を確認するため。
	12	先駆性木本群落	先駆性木本群落における植生状況を確認するため。
	13	先駆性木本群落	
	14	先駆性木本群落	
	15	アカメヤナギ群落	アカメヤナギ群落における植生状況を確認するため。
	16	アズマネザサ群落	アズマネザサ群落における植生状況を確認するため。
	17	アズマネザサ群落	
	18	竹林	竹林における植生状況を確認するため。
	19	竹林	
	20	竹林	
	21	アカマツ植林	アカマツ植林における植生状況を確認するため。
	22	スギ・ヒノキ植林	スギ・ヒノキ植林における植生状況を確認するため。
	23	スギ・ヒノキ植林	
	24	スギ・ヒノキ植林	
	25	スギ・ヒノキ植林	
	26	スギ・ヒノキ植林	
	27	ハリエンジュ植林	ハリエンジュ植林における植生状況を確認するため。
	28	ミゾソバ群落	ミゾソバ群落における植生状況を確認するため。
	29	ミゾソバ群落	
	30	ボントクタデ群落	ボントクタデ群落における植生状況を確認するため。
	31	オオブタクサ群落	オオブタクサ群落における植生状況を確認するため。
	32	ヨモギ群落	ヨモギ群落における植生状況を確認するため。
	33	セイタカアワダチソウ-クズ群落	セイタカアワダチソウ-クズ群落における植生状況を確認するため。
	34	メヒシバ-エノコログサ群落	メヒシバ-エノコログサ群落における植生状況を確認するため。
	35	メヒシバ-エノコログサ群落	
	36	イヌビエ群落	イヌビエ群落における植生状況を確認するため。
	37	チガヤ群落	チガヤ群落における植生状況を確認するため。
	38	シナダレスズメガヤ群落	シナダレスズメガヤ群落における植生状況を確認するため。
	39	ススキ-セイタカアワダチソウ群落	ススキ-セイタカアワダチソウ群落における植生状況を確認するため。
	40	ススキ-セイタカアワダチソウ群落	
	41	ススキ-セイタカアワダチソウ群落	
	42	ススキ-セイタカアワダチソウ群落	
	43	ヨシ群落	ヨシ群落における植生状況を確認するため。
	44	クサヨシ群落	クサヨシ群落における植生状況を確認するため。
	45	オギ群落	オギ群落における植生状況を確認するため。
	46	ヒシ群落	ヒシ群落における植生状況を確認するため。

注：表中の No. の番号は、図 8-1-5-2 の番号に対応する。

c) 調査期間

調査期間は、表 8-1-5-9 に示すとおりである。

表 8-1-5-9 植生の調査期間

季節区分	調査期間
夏季	令和2年7月6日～平成2年7月9日 令和2年8月3日～令和2年8月5日
秋季	令和2年9月4日、令和2年9月29日

d) 調査方法

調査方法は、表 8-1-5-10 に示すとおりである。

表 8-1-5-10 植生の調査方法

季節区分	調査期間
植生図作成	・調査地域の範囲を航空写真の判読によって植生及び裸地等の境界を決定し、現地調査により加筆・修正することにより作成した。
植生調査	・調査地域の範囲に存在する各植物群落を代表する地点において、ブラウン-ブランケの植物社会学的方法に基づき、コドラート内の各植物の被度・群度を記録することにより行った。コドラートの大きさは対象とする群落により異なるが、樹林地で10m×10m～20m×20m、草地で1m×1m～5m×5m程度をおおよその目安とした。各コドラートについて生育種を確認し、階層の区分、各植物の被度・群度を記録した。

e) 調査結果

現地調査による調査地域の植生状況は図 8-1-5-3 に、各植物群落の概要は表 8-1-5-11 に、それぞれ示すとおりである。

調査地域を代表する植物群落は、落葉広葉樹二次林であるコナラ群落及び植林地であるスギ・ヒノキ植林であり、この2つの樹林で調査地域の約7割が占められる。また、それらが伐採された後の開けた立地には、ススキ-セイタカアワダチソウ群落やシナダレスズメガヤ群落等の草本群落や先駆性木本群落等の低木林が成立している。対象事業実施区域の北側及び東側には集落が広がり、水田、畑地等の耕作地植生の他、その周囲にメヒシバ-エノコログサ群落やイヌビエ群落、チガヤ群落等の草本群落が分布している。



注：ヒシが植物における重要な種に該当するため、本図においてヒシ群落は示していない。

凡 例

□ 対象事業実施区域及び関連施設 - - - - - 町村界

○ 調査地域

【植物群落】

- | | | | |
|----------|----------------|-----------------|-------|
| スダジイ群落 | スキ・ヒキ植林 | チガヤ群落 | 植栽地 |
| アカマツ亜高木 | ハリエンジュ植林 | シダレスギ・カヤ群落 | 造成地 等 |
| コナラ群落 | ミソソバ群落 | ススキ・セイカアワダチソウ群落 | 住宅地 等 |
| ケヤキ群落 | ホントクダテ群落 | ヨシ群落 | 開放水域 |
| 先駆性木本群落 | オオブタガサ群落 | クサヨシ群落 | |
| アカメヤナギ群落 | ヨモギ群落 | オギ群落 | |
| アスナギサ群落 | セイカアワダチソウ・ウス群落 | ヒシ群落 | |
| 竹林 | ヒシバ・エノコログサ群落 | 畑地 | |
| アカマツ植林 | イヌビエ群落 | 水田 | |



1:15,000

0 100 200 300 400 500 m

図 8-1-5-3

現存植生（現地調査：全体）



注：ヒシが植物における重要な種に該当するため、
本図においてヒシ群落は示していない。

凡 例

- 対象事業実施区域及び関連施設
- 町村界
- 調査地域

【植物群落】

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. スダジイ群落 2. アカマツ亜高木 3. コナラ群落 4. ケヤキ群落 5. 先駆性木本群落 6. アカメナギ群落 7. アズマネガサ群落 8. 竹林 9. アカマツ植林 | <ul style="list-style-type: none"> 10. スキ・ヒキ植林 11. ハリエンジュ植林 12. ミソソバ群落 13. ホントクダマ群落 14. オオバタクサ群落 15. ヨモギ群落 16. セイタカアワダチソウ群落 17. ヒシバ-エノコログサ群落 18. イヌビエ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 19. チガヤ群落 20. シナダレスカヤ群落 21. ススキ-セイタカアワダチソウ群落 22. ヨシ群落 23. クサヨシ群落 24. オギ群落 25. ヒシ群落 26. 畑地 27. 水田 28. 植栽地 29~31. 造成地等 32~35. 住宅地等 w. 開放水域 |
|--|--|--|



1:10,000

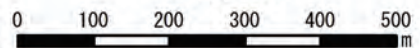
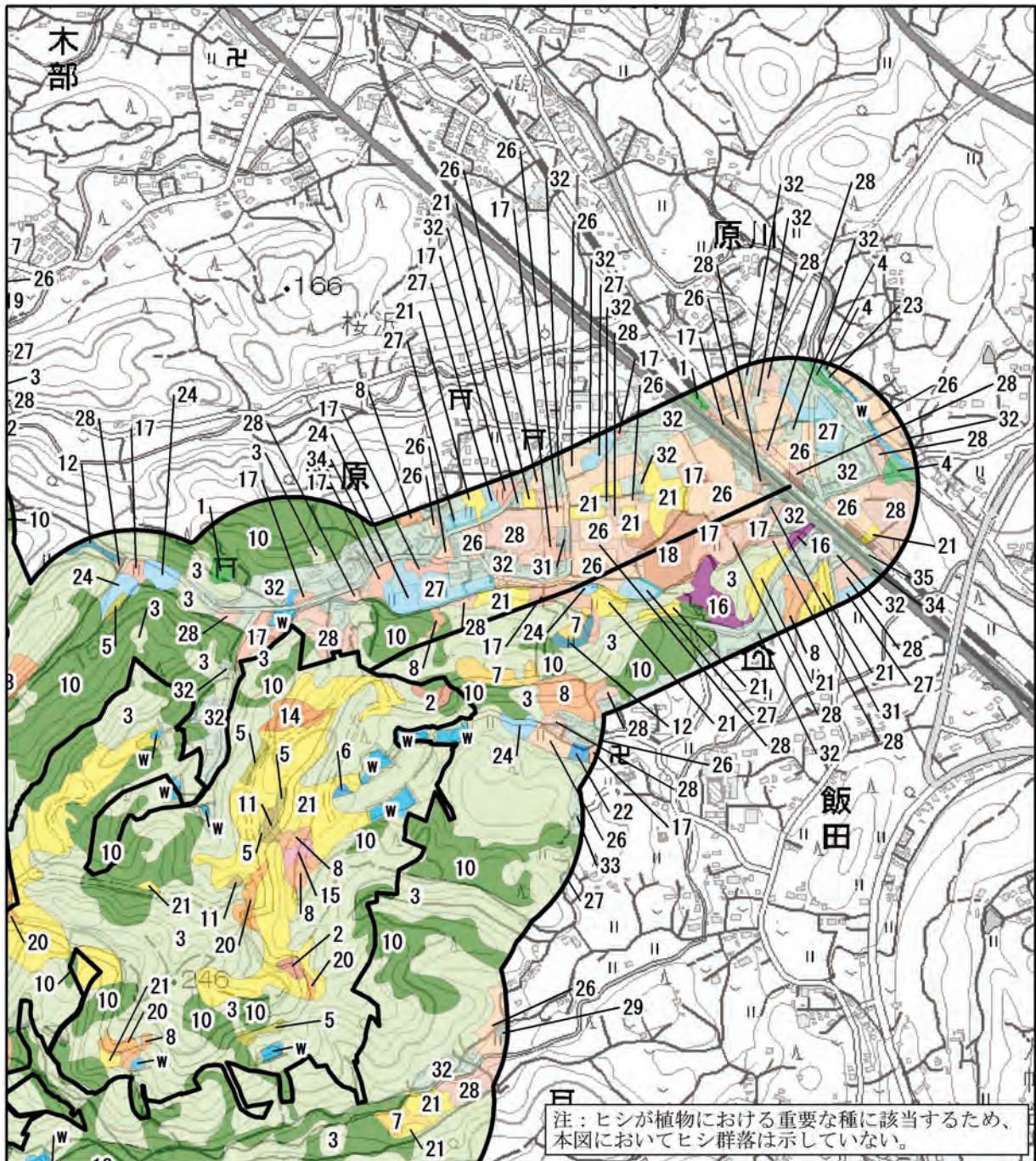


図 8-1-5-4(1)

現存植生（現地調査：詳細）



凡例

対象事業実施区域及び関連施設 町村界

調査地域

【植物群落】

- | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|
| 1. スタジイ群落 | 10. スキ・ヒキ植林 | 19. チガヤ群落 |
| 2. アカマツ亜高木 | 11. ハリエンジュ植林 | 20. シタダス'マガヤ群落 |
| 3. コナラ群落 | 12. ミソソバ群落 | 21. ススキ・セイカアワダチソウ群落 |
| 4. ケヤキ群落 | 13. ホントクダ群落 | 22. ヨシ群落 |
| 5. 先駆性木本群落 | 14. オオブタガサ群落 | 23. クサヨシ群落 |
| 6. アカメヤナキ群落 | 15. ヨモギ群落 | 24. オギ群落 |
| 7. アズマネザサ群落 | 16. セイカアワダチソウ'クス'群落 | 25. ヒシ群落 |
| 8. 竹林 | 17. ヒシバ'エノコガサ群落 | 26. 畑地 |
| 9. アカマツ植林 | 18. イヌビエ群落 | 27. 水田 |
| | | 28. 植栽地 |
| | | 29~31. 造成地等 |
| | | 32~35. 住宅地等 |
| | | w. 開放水域 |



1:10,000

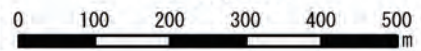
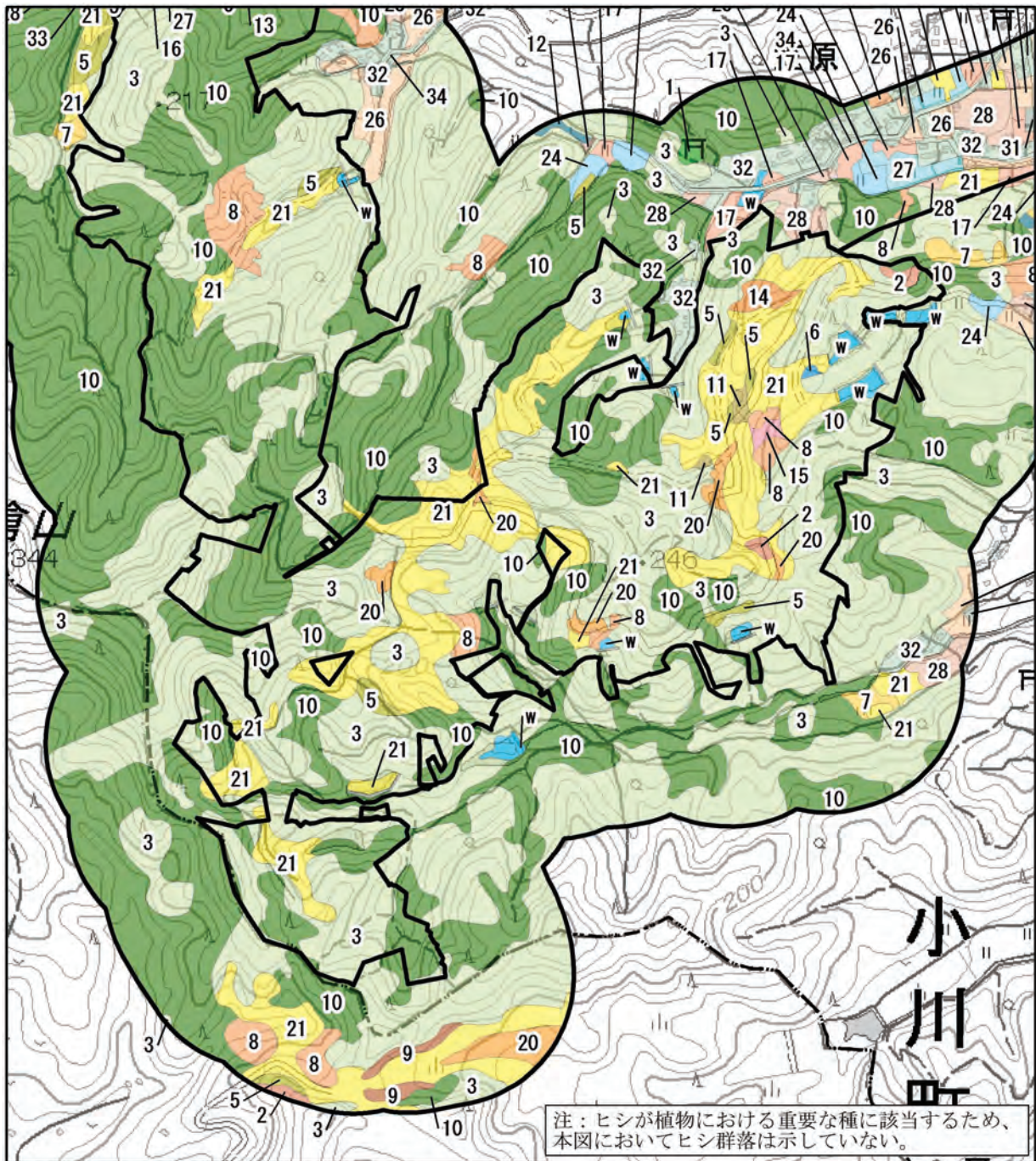


図 8-1-5-5(2)

現存植生（現地調査：詳細）



凡 例

対象事業実施区域及び関連施設 - - - - - 町村界

調査地域

【植物群落】

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. スダジイ群落 2. アカマツ亜高木 3. コナラ群落 4. ケヤキ群落 5. 先駆性木本群落 6. アカマツナキ群落 7. アスマネザサ群落 8. 竹林 9. アカマツ植林 | <ul style="list-style-type: none"> 10. スキ・ヒキ植林 11. ハリエゾウ植林 12. ミソソバ群落 13. ホントクダ群落 14. オオバクサ群落 15. ヨモギ群落 16. セイカアワダチソウ群落 17. ヒシバ・エノコグサ群落 18. イヌヒエ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 19. チガヤ群落 20. シナダレスカヤ群落 21. ススキ・セイカアワダチソウ群落 22. ヨシ群落 23. クサヨシ群落 24. オギ群落 25. ヒシ群落 26. 畑地 27. 水田 | <ul style="list-style-type: none"> 28. 植栽地 29~31. 造成地等 32~35. 住宅地等 w. 開放水域 |
|---|---|---|--|



1:10,000



図 8-1-5-5(3)

現存植生（現地調査：詳細）

表 8-1-5-11(1) 植物群落の概要

No.	植生図凡例	自然植生 代償植生 区分	主な出現種	主な分布地	調査地域内		対象事業実施区域内	
					面積 (ha)	全体に占 める割合 (%)	面積 (ha)	全体に占め る割合(%)
1	スダジイ群落	ヤブツバキ クラス域 自然植生	シラカシ、アラカ シ、ヤマザクラ、 イヌシデ、スダジ イ、モチノキ	熊野神社林域	0.18	0.07	0.00	0.00
2	アカマツ亜高木	ヤブツバキ クラス域 代償植生	アカマツ、ヌル デ、イヌシデ	調査地域西側及 び南側の砂礫が 混ざる尾根筋	0.35	0.14	0.23	0.27
3	コナラ群落		コナラ、クヌギ、 ヤマザクラ、アセ ビ、アズマネザ サ、テイカカズラ	対象事業実施区 域内、周辺域を 問わず広く分布	95.76	37.95	42.10	48.92
4	ケヤキ群落	ヤブツバキ クラス域 自然植生	ケヤキ、マダケ、 シラカシ、ムクノ キ	調査地域東端及 び北側にある住 宅地の小河川沿 い	0.33	0.13	0.00	0.00
5	先駆性木本群落	ヤブツバキ クラス域 代償植生	ネムノキ、アカメ ガシワ、クサギ、 ヒメコウゾ	林縁や開けた谷 部脇等	1.26	0.50	0.62	0.72
6	アカメヤナギ群落	ヤブツバキ クラス域 自然植生	アカメヤナギ、ミ ズキ、エゴノキ、 アズマネザサ	対象事業実施区 域東側の堰堤の 水叩き付近	0.04	0.02	0.04	0.05
7	アズマネザサ群落	ヤブツバキ クラス域 代償植生	アズマネザサ、ク ズ、カナムグラ、 フジ	調査地域に小面 積で点在	0.82	0.33	0.00	0.00
8	竹林	植林地・ 耕作地植生	マダケ、モウソウ チク、シラカシ、 ヒサカキ	調査地域北側の 斜面下部や住宅 地の裏山等に点 在	4.92	1.95	1.61	1.87
9	アカマツ植林		アカマツ、アカメ ガシワ、クズ、イ ヌシデ、リョウブ	調査地域南側	0.43	0.17	0.00	0.00
10	スギ・ヒノキ植林		スギ、ヒノキ、シ ラカシ、ヒサカ キ、アオキ、テイ カカズラ	対象事業実施区 域内、周辺域を 問わず広く分布	86.95	34.45	26.45	30.74
11	ハリエンジュ植林		ハリエンジュ、イ ヌシデ、エノキ、 クズ、ノコンギク	対象事業実施区 域東側	0.16	0.06	0.16	0.18
12	ミゾソバ群落		ミゾソバ、クサヨ シ、ケキツネノボ タン	調査地域の休耕 田や休耕地	0.22	0.09	0.00	0.00
13	ボントクタデ群落		ボントクタデ、ミ ズヒキ、ネコノメ ソウ	調査地域の林内	0.08	0.03	0.08	0.09
14	オオブタクサ群落		ヤブツバキ クラス域 代償植生	オオブタクサ、ス スキ、カナムグ ラ、クズ	対象事業実施区 域東側	0.33	0.13	0.33
15	ヨモギ群落	ヨモギ、セイタカ アワダチソウ、ス スキ、オオブタク サ、カナムグラ	調査地域中央付 近	0.14	0.05	0.14	0.16	

表 8-1-5-11(2) 植物群落の概要

No.	植生図凡例	自然植生 代償植生 等区分	主な出現種	主な分布地	調査地域内		対象事業実施区域内	
					面積 (ha)	全体に 占める 割合(%)	面積(ha)	全体に占 める割合 (%)
16	セイタカアワダチソウ-クズ群落	植林地・ 耕作地植生	セイタカアワダチソウ、クズ、カナムグラ	調査地域東側および北側集落の休耕地	1.04	0.41	0.00	0.00
17	メヒシバ-エノコログサ群落		メヒシバ、エノコログサ、タカサブロウ、エノキグサ、ザクロソウ、ヒメジョオン	調査地域東端や北端の集落にある休耕地や放棄耕作地、畑地付近	2.91	1.15	0.00	0.00
18	イヌビエ群落		イヌビエ、コゴメガヤツリ、チョウジタデ、チゴザサ、テンツキ	調査地域東側の休耕地	0.84	0.33	0.00	0.00
19	チガヤ群落		チガヤ、メヒシバ、スギナ、ヨモギ	調査地域北側の集落にある休耕地	0.19	0.08	0.00	0.00
20	シナダレスズメガヤ群落	ヤブツバキ クラス域 代償植生	シナダレスズメガヤ、メドハギ、ヤハズソウ、ススキ	山林内の日当たりの良い林道脇や空き地、調査地域南側	1.30	0.52	0.59	0.69
21	ススキ-セイタカアワダチソウ群落		セイタカアワダチソウ、ススキ、カナムグラ、クズ、フジ	山林内の日当たりの良い林道脇や空き地、調査地域南側の山腹斜面	19.93	7.90	13.04	15.15
22	ヨシ群落	河辺・ 湿原・沼沢 地・砂丘植 生	クサヨシ、セイタカアワダチソウ	調査地域北側の集落	0.22	0.09	0.00	0.00
23	クサヨシ群落		クサヨシ、ジュズダマ、スギナ、コウヤワラビ	調査地域東端の小河川左岸	0.04	0.01	0.00	0.00
24	オギ群落		オギ、セイタカアワダチソウ、クズ、ヤブガラシ	調査地域の集落付近	0.77	0.31	0.00	0.00
25	ヒシ群落		ヒシ	調査地域の堰堤(水叩き)の池水面	0.10	0.04	0.00	0.00
26	畑地	植林地・ 耕作地植生	—	—	9.37	3.71	0.00	0.00
27	水田		—	—	2.14	0.85	0.00	0.00
28	植栽地		—	—	5.38	2.13	0.00	0.00
29	人口裸地	市街地等	—	—	0.04	0.02	0.00	0.00
30	コンクリート構造物		—	—	0.20	0.08	0.19	0.22
31	造成地		—	—	0.13	0.05	0.00	0.00
32	住宅地		—	—	12.05	4.77	0.00	0.00
33	墓地		—	—	0.19	0.08	0.00	0.00
34	道路		—	—	1.81	0.72	0.00	0.00
35	鉄道		—	—	0.60	0.24	0.00	0.00
w	開放水域	—	—	—	1.15	0.45	0.48	0.56
合計					252.36	100.00	86.06	100.00

注：面積等の数字は小数点第3位を四捨五入した値を記載しているため、合計等の値が合わない場合がある。

③ 植生の基盤となる地形・土壌の状況

「3-1 自然的状況 3-1-4 地形及び七質の状況 (2) 地質の状況 2) 土壌の分布状況」によると、調査地域周辺は、主として山地、丘陵地に分布する土壌が分布しており、特に凸形の急斜面や緩斜面などほぼ中庸の水分環境下に生成された日野沢2統が最も広く分布している。また、調査地域の東側にはより乾燥した環境下で生成された日野沢1統が分布する他、谷地形に沿って日野沢3統や台地、低地に分布する三沢統が分布している。

④ 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

(a) 文献その他の資料調査

a) 調査地域

調査地域は対象事業実施区域及びその周辺とした。

b) 調査方法

文献その他の資料調査により確認された植物及び植生について、表 8-1-5-12 に示す選定根拠に基づき学術上又は希少性の観点から重要な種及び重要な群落を抽出した。

表 8-1-5-12 重要な種及び重要な群落の選定根拠

選定基準		重要な種	重要な群落
法律及び文献等の名称	カテゴリー		
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別天然記念物 ・ 天然記念物 	● ●
II	「埼玉県文化財保護条例」 (1955 年 10 月 1 日公布、同日施行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別天然記念物 ・ 天然記念物 	● ●
III	「小川町文化財保護条例」 (1961 年 2 月 28 日公布、同日施行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天然記念物 	● ●
IV	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際希少野生動植物種 ・ 国内希少野生動植物種 ・ 特定第一種国内希少野生動植物種 ・ 特定第二種国内希少野生動植物種 	● ●
V	「環境省報道発表資料 環境省レッドリスト 2020 の公表について」 (令和 2 年、環境省)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶滅 (EX) ・ 野生絶滅 (EW) ・ 絶滅危惧 I 類 (CR+EN) ・ 絶滅危惧 I A 類 (CR) ・ 絶滅危惧 I B 類 (EN) ・ 絶滅危惧 II 類 (VU) ・ 準絶滅危惧 (NT) ・ 情報不足 (DD) ・ 絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) 	● —
VI	「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」(平成 24 年、埼玉県)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶滅 (EX) ・ 野生絶滅 (EW) ・ 絶滅危惧 I 類 (CE) ・ 絶滅危惧 I A 類 (CR) ・ 絶滅危惧 I B 類 (EN) ・ 絶滅危惧 II 類 (VU) ・ 準絶滅危惧 (NT) ・ 情報不足 (DD) ・ 絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) 	● ●
VII	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」(2000 年、埼玉県)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希少野生動植物種 	● ●

c) 調査結果

(7) 重要な種

文献その他の資料調査により確認された 158 科 1490 種の植物のうち、表 8-1-5-13 に示すとおり 215 種が重要な種に選定された。

表 8-1-5-13(1) 文献その他の資料調査による重要な種

No.	分類群	科名	種名	重要種選定基準							文献・資料			
				I	II	III	IV	V	VI	VII	1	2		
1	シダ植物門	イワヒバ	カタヒバ						NT		○	○		
2			イワヒバ						NT		○			
3		ミズニラ	ミズニラ					NT	VU		○			
4		トクサ	イヌスギナ						NT		○	○		
5		ハナヤスリ	アカハナワラビ						NT		○	○		
6			ナツノハナワラビ						NT		○	○		
7			コヒロハハナヤスリ							VU		○		
8		ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ							EN		○		
9			ヤシャゼンマイ							VU		○	○	
10		キジノオンダ	オオキジノオ							CR		○	○	
11			キジノオンダ							VU		○		
12		ウラジロ	コシダ							VU		○		
13			ウラジロ							NT		○	○	
14		コケシノブ	アオホラゴケ							VU		○	○	
15			ハイホラゴケ							VU		○		
16		コバノイシカグマ	コバノイシカグマ							NT		○	○	
17		ホングウシダ	ホラシノブ							VU		○		
18		ミズワラビ	ヒメウラジロ						VU	VU			○	
19			ミヤマウラジロ							NT		○		
20		シシラン	シシラン							NT		○	○	
21		チャセンシダ	クモノスシダ							NT		○		
22		シシガシラ	コモチシダ							EN		○		
23		オンダ	オオカナワラビ							NT		○		
24			ホソバカナワラビ								CR		○	○
25			シノブカグマ								NT		○	
26			キヨスミヒメワラビ								NT		○	○
27			メヤブソテツ								NT		○	○
28			サイゴクベニシダ								VU		○	
29			マルバベニシダ								NT		○	○
30			サクライカグマ								VU		○	○
31			ヌカイタチシダ								EN		○	○
32			ギフベニシダ								DD		○	
33			チャボイノデ								EN		○	
34			サイゴクイノデ								VU		○	
35			ヒメカナワラビ								EN		○	○
36			オオキヨスミシダ								EN		○	
37			メシダ	ウスヒメワラビ							NT		○	
38		オオヒメワラビ									NT		○	○
39		ミドリワラビ									EN		○	
40		エビラシダ									EN		○	
41		イワウサギシダ									VU		○	
42		サンショウモ	サンショウモ						VU	EN		○	○	
43	種子植物門	ヤナギ	シライヤナギ						NT		○			
44	被子植物亜門	ブナ	アカガシ						NT		○	○		
45	双子葉植物綱	タデ	ヒメタデ					VU	EX		○			
46	離弁花亜綱		ホソバイヌタデ						NT	NT		○		
47			ヤナギヌカボ							VU			○	

表 8-1-5-13(2) 文献その他の資料調査による重要な種

No.	分類群	科名	種名	重要種選定基準							文献・資料	
				I	II	III	IV	V	VI	VII	1	2
48	種子植物門	タデ	ナガバノウナギツカミ					NT	EX		○	○
49	被子植物亜門		シロバナサクラタデ						NT		○	
50	双子葉植物綱	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ						EN		○	○
51	離弁花亜綱	ナデシコ	ナンバンハコベ						NT		○	
52			カワラナデシコ						VU			○
53			フシグロセンノウ						NT			○
54			オオヤマフスマ						EN		○	
55			ヒゲネワチガイソウ						NT			○
56		アカザ	カワラアカザ						EN		○	
57		キンボウゲ	イチリンソウ						NT			○
58			アズマイチゲ						NT			○
59			レンゲショウマ						NT			○
60			ヒメウズ						VU		○	
61			トウゴクサバノオ						NT		○	○
62			カラマツソウ						EN		○	○
63			ノカラマツ					VU	VU		○	
64		メギ	イカリソウ						NT			○
65		ツツラフジ	ツツラフジ						VU		○	○
66		ドクダミ	ハンゲショウ						VU		○	
67		ウマノスズクサ	ウスバサイシン						NT		○	
68			カンアオイ						NT		○	○
69		オトギリソウ	トモエソウ						VU			○
70			ミズオトギリ						EN		○	
71		ケシ	ヤマブキソウ						NT			○
72		アブラナ	ハタザオ						VU		○	
73			ミズタガラシ						EN		○	○
74		ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ						VU		○	○
75		ユキノシタ	ネコノメソウ						NT		○	○
76			タコノアシ					NT	VU		○	
77		バラ	オオズミ						DD		○	
78			リンボク						EN		○	
79			ナンキンナナカマド						NT			○
80		マメ	イヌハギ					VU	VU		○	
81		トウダイグサ	ノウルシ					NT	VU		○	
82		ミカン	フユザンショウ						NT		○	○
83		ドクウツギ	ドクウツギ						EN		○	
84		クロウメモドキ	ミヤマクマヤナギ						VU		○	
85		ジンチョウゲ	オニシバリ						EN		○	○
86		スマレ	エゾノタチツボスミレ						VU			○
87			コミヤマスマレ						EN			○
88			アケボノスマレ						NT		○	○
89		ミソハギ	ヒメミソハギ						NT		○	○
90			エゾミソハギ						EN		○	○
91			ミズマツバ					VU	VU		○	
92		ヒシ	ヒシ						NT		○	○
93		アカバナ	ウシタキソウ						NT		○	
94			ミズユキノシタ						CR		○	
95		セリ	ハナビゼリ						VU		○	
96			ホタルサイコ						NT		○	
97			イブキボウフウ						VU		○	
98	種子植物門	イチヤクソウ	シヤクジョウソウ						NT		○	
99	被子植物亜綱	ツツジ	シロヤシオ						NT			○
100	双子葉植物綱	サクラソウ	ヌマトラノオ						NT		○	

表 8-1-5-13(3) 文献その他の資料調査による重要な種

No.	分類群	科名	種名	重要種選定基準							文献・資料		
				I	II	III	IV	V	VI	VII	1	2	
101	種子植物門	リンドウ	センブリ							VU		○	○
102	被子植物亜綱	ガガイモ	タチガシワ							NT		○	○
103	双子葉植物綱		ココモメヅル							NT		○	○
104	合弁花亜綱	アカネ	アリドオシ							VU		○	
105			キクムグラ							NT		○	○
106			ホソバノヨツバムグラ							NT		○	○
107			カワラマツバ							EN		○	
108		ヒルガオ	マメダオシ						CR	EN		○	
109		ムラサキ	オオルリソウ							NT		○	
110			ホタルカズラ							VU			○
111		シソ	オウギカズラ							NT			○
112			ツクバキンモンソウ							VU			○
113			マネキグサ						NT	EN			○
114			ヤマジソ						NT	VU			○
115			ミゾコウジュ						NT	NT			○
116			オカタツナミソウ							NT		○	○
117		ゴマノハグサ	アブノメ							NT		○	
118			オオアブノメ							VU	EN	○	
119			キクモ							NT		○	
120			スズメノトウガラシ							EN		○	○
121			ママコナ							NT		○	○
122			クチナシグサ							NT		○	
123			サツキヒナノウスツボ							VU		○	○
124			ヒキヨモギ							NT			○
125			イヌノフグリ							VU	NT	○	
126			カワヂシャ							NT	VU	○	○
127		キツネノマゴ	ハグロソウ							NT		○	○
128		スイカズラ	ゴマギ							NT		○	○
129		オミナエシ	オミナエシ							EN			○
130			ツルカノコソウ							NT		○	○
131		キキョウ	キキョウ							VU	CR		○
132		キク	カワラハハコ							VU		○	
133			カワラヨモギ							VU		○	
134			サワシロギク							DD		○	
135			タウコギ							NT		○	
136			テバコモミジガサ							NT		○	○
137			オオガンクビソウ							NT		○	
138			アワコガネギク							NT		○	○
139			フジバカマ							NT	NT	○	○
140			アキノハハコグサ							EN	CR	○	○
141			オグルマ							NT		○	○
142			カセンソウ							NT		○	
143			ノニガナ							NT		○	
144			カワラニガナ							NT	VU	○	
145			オオモミジガサ							VU		○	
146			ミヤコアザミ							EN		○	
147			アサマヒゴタイ							VU		○	
148			タカオヒゴタイ							CR		○	
149			セイタカトウヒレン							EN		○	
150			オカオグルマ							EN			○
151			キオン							NT		○	
152			ハバヤマボクチ							VU		○	
153			オナモミ							VU	VU	○	

表 8-1-5-13(4) 文献その他の資料調査による重要な種

No.	分類群	科名	種名	重要種選定基準							文献・資料	
				I	II	III	IV	V	VI	VII	1	2
154	種子植物門	オモダカ	ヘラオモダカ						NT		○	○
155	被子植物亜門		ウリカワ						NT		○	○
156	単子葉植物綱	トチカガミ	クロモ						EN		○	○
157			ミズオオバコ					VU	VU		○	
158		ヒルムシロ	エビモ						NT		○	○
159			ヒルムシロ						NT		○	○
160			ヤナギモ						NT		○	
161		イバラモ	ホッソモ						DD		○	
162		ユリ	ノギラン						NT		○	
163			ヒメニラ						NT		○	
164			キジカクシ						NT		○	
165			カタクリ						NT			○
166			ワニグチソウ						NT		○	
167			シロバナエンレイソウ						NT			○
168			アマナ						NT			○
169			ヒガンバナ	キツネノカミソリ						NT		○
170		ホシクサ	ホシクサ						EN		○	
171			イトイヌノヒゲ						EN		○	
172			ニッポンイヌノヒゲ						EN		○	○
173			ヒロハイヌノヒゲ						VU		○	○
174	イネ	ハネガヤ						NT		○		
175		セトガヤ						NT		○	○	
176		アズマガヤ						NT		○		
177		ヒメアブラススキ						NT		○		
178		カリマタガヤ						VU		○		
179		ムツオレグサ						NT		○	○	
180		キダチノネズミガヤ						NT		○		
181		ヒロハノハネガヤ						NT		○		
182		ウシクサ						NT		○		
183		ヒゲシバ						NT		○		
184	サトイモ	ヒロハテンナンショウ						EN		○		
185		ウラシマソウ						NT		○		
186	カヤツリグサ	アワボスゲ						VU		○		
187		サナギスゲ						VU		○		
188		ヤマアゼスゲ						NT		○	○	
189		ウマスゲ						NT		○		
190		アズマスゲ						NT		○		
191		ヒメシラスゲ						VU		○		
192		ヤチカワズスゲ						EX		○		
193		アオゴウソ						NT		○		
194		タカネマスクサ						NT		○		
195		ヒメガヤツリ						VU		○		
196		ノテンツキ						EN		○		
197		アゼテンツキ						EN		○		
198		オオイヌノハナヒゲ						DD		○		
199		コイヌノハナヒゲ						DD		○		
200		コマツカサススキ						EN		○	○	
201		ヒメホタルイ						VU		○		
202	マツカサススキ						NT		○			
203	ラン	シラン					NT	EN			○	
204		エビネ					NT	EN			○	
205		ギンラン						VU		○	○	
206		キンラン					VU	EN			○	

表 8-1-5-13(5) 文献その他の資料調査による重要な種

No.	分類群	科名	種名	重要種の選定基準							文献・資料			
				I	II	III	IV	V	VI	VII	1	2		
207	種子植物門	ラン	ササバギンラン							NT		○	○	
208	被子植物亜門		シュンラン							NT			○	
209	単子葉植物綱		オニノヤガラ								VU		○	
210			ミヤマウズラ								NT			○
211			ジガバチソウ								NT			○
212			クモキリソウ								NT		○	○
213			コ克蘭								EN	●		○
214			オオバノトンボソウ								NT		○	○
215			ハクウンラン								EN			○
合計			-	71 科	215 種	0 種	0 種	0 種	0 種	28 種	214 種	1 種	178 種	106 種

注1：分類、配列等は、原則として「植物目録1987」（昭和63年、環境庁）に準拠した。

注2：重要種の選定基準は、以下のとおりである。

I 「文化財保護法」（昭和25年5月30日公布、同日施行）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「埼玉県文化財保護条例」（1955年10月1日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

III 「小川町文化財保護条例」（1961年2月28日公布、同日施行）に基づく天然記念物

天：天然記念物

IV 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行）

国際：国際希少野生動植物種、国内：国内希少野生動植物種、国内I：特定第一種国内希少野生動植物種、

国内II：特定第二種国内希少野生動植物種

V 「環境省報道発表資料 環境省レッドリスト2020の公表について」（令和2年、環境省）における選定種

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、

VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

VI 「埼玉県レッドデータブック 2011植物編」（平成24年、埼玉県）における記載種

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CE：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、

VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

VII 「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」（2000年、埼玉県）に基づく希少野生動植物種

●：希少野生動植物種

(イ) 重要な群落

文献その他の資料調査の結果、重要な群落は確認されなかった。